



ルイス・クラレット

名付け親・カザルスの心を受け継ぐ
カタリーニャが誇る円熟のチェリスト

Lluís Claret & Masaru Okada

Program

ボッケリーニ：アダージョとアレグロ

カザルス：チェロとピアノの為の5つの作品

ベートーヴェン：チェロとピアノの為のソナタ 第3番 イ長調 作品69

カサド：愛の言葉

2014 **4/7** (月)

PM7:00 開演 6:30 開場

宝塚ベガ・ホール

阪急宝塚線「清荒神」駅下車すぐ ☎ 0797-84-6192

一般 3500 円 (全自由席)

学生 2000 円

※当日券 一般4000円 学生2500円

● チケット取扱い

eプラス (インターネット予約) <http://eplus.jp>

宝塚ベガ・ホール

● お問い合わせ/チケット取扱い

ラプトサウンド ☎ 0797-84-5952 ✉ office@rapt-sound.com

スピカ ☎ 03-3978-6548 ✉ spica@sepia.ocn.ne.jp

〔共催〕ラプトサウンド スピカ

〔ピアノ〕

岡田将





ルイス・クラレット Lluís Claret (チェロ)

カタロニア出身の両親がフランコ将軍の独裁に反対し、亡命した地、アンドラで1951年に生まれ、両親と親交が深いパブロ・カザルスが名付け親となる。

そのカザルスの影響でチェロを志し、リセウの音楽院を優等で卒業した後、フランス、イタリア、アメリカで研鑽を積む。その間、モーリス・ジャンドロン、エヴァ・ヤンツェルらから指導を受けるほか、エンリック・カザルス(パブロ・カザルスの弟)から徹底した音楽教育を受ける。また、ジョルジ・セボック、バーナード・グリーンハウスからも多大な影響を受ける。

ボローニャ(1975年)、カザルス(1976年)、ロストロポーヴィチ(1977年)の各国際コンクールに優勝し、世界を舞台に活躍を始める。ピエール・ブーレーズ、カール・ミュンヒンガー、ヴァツラフ・ノイマン、ムステスラフ・ロストロポーヴィチらの指揮で、ワシントン・ナショナル管、モスクワフィル、フランス国立管、イギリス室内管、チェコ・フィルなど世界各地のメジャー・オーケストラと共演を重ねる。バルセロナ五輪の閉会式では、カタロニアを代表する演奏家として、ソプラノのビクトリア・デ・ロス・アンヘレスと共にカタルーニャ民謡「鳥の歌」を演奏する。レパートリーはバッハから現代作曲家まで幅広く、現代作曲家(デュティユー、ルトスワフスキ、ブーレーズ、クセナキス等)から献上された作品の初演も多い。

室内楽にも力を注いでおり、バルセロナ・トリオ(1981~1993)の創立メンバーであり、2007年からはベルリントリオのメンバーとしても活躍している。また、著名な音楽家との共演も多い。

演奏活動に加え、主要な国際コンクールの審査員、トゥールーズ音楽院や各地のマスタークラスで後進の指導、音楽祭の監督など幅広い活動を展開している。

数多くのCDがハルモニア・ムンディとアウヴィデス両レーベルからリリースされている。



岡田 将 Masaru Okada (ピアノ)

桐朋女子高等学校(共学)在学中の1992年、日本音楽コンクール第1位となる。翌年、同校を首席で卒業し、ザルツブルグ・モーツァルテウム音楽院に留学。続いて95年よりベルリン国立芸術大学にて研鑽を積む。97年アルトウール・シュナーベルコンクール(ドイツ)第1位、99年リスト国際ピアノコンクール(オランダ)で日本人初の優勝など、コンクールで輝かしい成果を挙げる。以来、欧米と日本各地でオーケストラとの共演、リサイタルの開催、バイロイト音楽祭など音楽祭への参加など、ドイツを拠点にソリストとして活躍する。

2007年に帰国し、神戸女学院大学の講師として後進の指導にもあたる。

現在、ソロに留まらず、室内楽の分野でも充実した活動を展開し、実力派ピアニストとして期待を担っている。とりわけ、リスト生誕200年の2011年に東京と神戸で開催したオール・リスト3回シリーズ、2012年から2013年にかけてのバッハパルティータ全曲演奏は、大きな反響を呼んだ。

2004年、デビューCD「岡田将ブレイズ・リスト」をリリース。新聞紙上で推薦盤に取り上げられる。

2002年出光賞、03年日本シヨパン協会賞、11年坂井時忠音楽賞、兵庫県芸術奨励賞を受賞。

CD「Pau Casals ～カザルス作品集」 ルイス・クラレット(チェロ・指揮)



パブロ・カザルス作曲

チェロとピアノのための5つの作品 (2010年 ルイス・クラレット初演)

PASTORAL (田園)

RÊVERIE (空想)

FULL D'ÀLBUM (アルバム1頁)

ROMANÇA (ロマンス)

POÈME (ポエム)

チェロのための2つのサルダーナ

SARDANA PER A ORQUESTRA DE VIOLONCELS

(チェロオーケストラのためのサルダーナ)

“SANT MARTI DEL CANIGÓ” (カニゲー山の聖マルタン)